

今年の二月、ミャンマーで国軍によるクーデターが起こった。日を増すごとに過激化する軍隊からの攻撃を私はテレビで見ている。

けたたましく響く銃声と悲鳴の中を、血だらけの少年を背負って逃げる一人の男性の姿は、あまりにも衝撃的で胸が痛く、今も鮮明に覚えている。画面越しに見ているだけでもたまらないのに、現地であのような辛く苦しい日々を生きるミャンマーの人々の苦労や気持ちは容易に想像できない。

映像も見ながら改めて疑問に思ったことがある。なぜ人々は戦争などの暴力や武器を用いた残酷な攻撃によって自分たちの意志を強制しようとしてしまうのだろうか。

遡ってみると私たち人間は、何千年も前から戦争などの武力衝突を繰り返してきた。資源や土地の奪い合い、民族同士や宗教同士の対立、権力争いなど、原因は様々である。そして現在もお、同じようなことが原因となり、世界各地で紛争や内戦が行われている。このような背景から、武力衝突がなくならない理由として私が考えるのは二つである。

一つは自分たちの意見を主張する方法として、武力を使用することしか分からないということである。昔から戦争を繰り返してきたこの世界には、十分な教育も受けられずに過酷な日々を生きてきた人々が多くいる。戦争しか知らない人々は、自分たちの世代になって争うこと

## 私たちが実現する平和

真和高等学校2年

### 栞澤文歌

になれば彼らもまた戦争という選択をするのだろうか。

もう一つは経済格差や考え方の違いなど、未だ埋まらない溝が多く存在することである。自分たちが発展していくのに必要なものを互いに奪い合う。人にはそれぞれに大切なものや考え方があり、それらがぶつかりあうことも当然ある。しかし、それを武力によって解決しようとしてもそれぞれに深い悲しみが残るだけで、解決方法として間違いだと思

う。

現在まで戦争がなくなったことのないこの世界から今すぐ戦争をなくすのは難しい。しかし、将来起こりうる戦争をとめることは可能である。そのために必要なのは世界中の人々が戦争について正しく理解することだと考える。これからの戦争を阻止するためには、戦争の残酷さや悲惨さはもちろんだが、世界を取り巻く環境や情勢についても理解する必要がある。学ぶことが世界の困っている人たちのために自分ができることが何か見えてくるかもしれない。これからの未来を戦争のない、人々の笑顔であふれる世界にするためにいま私たちは地球に生きる人間の一人として戦争や平和についてしっかりと学び、互いの意志を尊重しあうための新たな解決策を模索していくときだと強く思う。